

補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	函館市PTA連合会事業補助金	開始 年 度	昭和37年度
----------------	----------------	-----------	--------

団 体 名	函館市PTA連合会
-------	-----------

助成の根拠既定等 (条例・規則・要綱等)	函館市補助金等交付規則
-------------------------	-------------

○補助事業の内容および目的・効果

内 容	PTA活動の目的達成のため、各校単位PTAや北海道PTA連合会と密接な連携をとりながら、青少年の健全育成を目指した各種事業や研修活動の推進を図る。
目 的	(目 的) 現代社会における児童生徒の人間形成のため、市内の小中学校の単位PTAの連合体として、教育課題を見据えた研究大会や研修会など合同事業の効率的運営と実施を図る。
・ 効 果	(効 果) PTA活動の促進および充実が図られ、児童生徒の健全育成、地位の発展、生涯学習の推進等、多大な効果が得られる。

○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		会 費	繰越金	雑収入		計
		市	その他					
収 入	26 (決算)	1,337	182	3,526	32	1		5,078
	27 (決算)	1,337	180	3,439	305	1		5,262
	28 (決算)	1,204	176	3,346	201	1		4,928
	29 (決算)	1,204	178	3,282	27	12		4,703
	30 (決算)	1,204	173	3,216		1		4,594
支 出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等	雑費		計
	26 (決算)	1,532	250	1,677	1,601	18		5,078
	27 (決算)	1,407	438	1,649	1,565			5,059
	28 (決算)	1,399	717	1,258	1,527			4,901
	29 (決算)	1,393	446	1,371	1,493			4,703
	30 (決算)	1,393	178	1,563	1,460			4,594

補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	函館市PTA連合会事業補助金
----------------	----------------

○基本的視点の再チェック

基本的視点		適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	☒ ☒ ☒	☐ ☐ ☐	PTA連合会は市内小中学校の単位PTAの連合体(小中68校加盟)として編制されており、一学校を超えた広域的問題の解決に向けた様々な活動に取り組む団体として、広く市民生活の向上に貢献している。
2	必要性(補助しなければならない事業であるか)	☒	☐	児童生徒の健全育成のために学校・家庭・地域の連携の核となるPTA活動に支障をきたすことは、学校教育・社会教育の両面で大きな影響を受けるため、補助する必要がある。
3	自主性(自主自立に向け努力しているか)	☒	☐	児童生徒数の減少により、財政的に逼迫しているなか、事業経費等の見直しを行い、効率的な運営に努めている。
4	有効性(他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	☒	☐	団体の性質上、市が主体となって運営することはできないため、現在の方法が最適である。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

○財政的視点のチェック

財政的視点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	☐	
2	補助金等の使途は適切である	☐	
3	積算基準は定められている	☒	当該補助金は、団体からの要望に基づき、団体の活動目的や活動内容を確認した上で、教育政策的な意図を以て支出していることから、積算基準を定めていない。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	☐	
5	前年度繰越金は生じていないか	☐	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	☒	児童生徒数の減少により会費収入が減少しているが、それに伴って支出においても負担金等の支出が減少しているため、事業内容に特段の影響はない。
7	経常経費の節減に努めているか	☐	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

補助金・交付金チェックシート (No. 3)

補助金名
(交付金名)

函館市PTA連合会事業補助金

○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)

実績報告により事業内容が補助の目的・趣旨に合致しているか確認し, 効果を測定する。

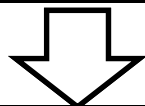
(達成状況)

平成30年度については, 市内68の単位PTAや北海道PTA連合会と密接な連携を図りながら, 児童生徒の健全育成, 成人教育のための研修活動, 学校教育の条件整備等の推進に努め, PTA活動本来の目的を達成し, 社会教育の振興に貢献した。

※主な活動と参加者数

函館地区広報活動研修会 37人, 第65回北海道ブロック研究大会旭川大会への参加 12人
第53回市P連研究大会 300人, 市P連表彰式・新年交礼会開催 420人

※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。



(評価)

十分効果をあげている ☒
一定の効果をあげている ☐
効果が疑問である ☐
その他 ☐

(理由)

○今後の方向性

☐ 現行のまま補助を継続
☒ 見直したうえで補助を継続
☐ 廃止
☐ その他

(見直しの内容)

事業内容や収支状況等を精査し, 補助対象経費の見直しを行う。

(見直しの時期)

令和3年度

(廃止の理由)

(廃止の時期)

(その他の内容)

○終期の設定

終期設定

令和3年度

☐

終期到来により廃止

☒

終期到来時に再検討

次回チェック年度(予定)

令和3年度